11月2日
2015年
（平成27年）
月　曜　日
第18461号（日刊）
土、日曜・祝日は休刊
Metal & Technology
鉄鋼新聞

ＪＳＣＡ東北

鉄筋モックアップが完成

ＲＣ造構造物研修に活用

日本建築構造技術者協会（ＪＳＣＡ）東北支部（加藤重信支部長）が宮城県大衡村に建設を進めていた鉄筋の配筋検査研修用の実物大構造見本（鉄筋モックアップ）が完成し、このほど同協会本部の技術委員会幹部が現地を訪れ、施設を見学した。

この施設は鉄筋コンクリート造構造物の品質確保に向けて、配筋検査技術のレベルアップを主目的に、工事業者や構造設計・監理者、施工管理者などの育成・研修のほか、学校などによる見学会の受け入れを通じた若手人材の確保を目指した東北初の施設。設置にあたっては、鉄筋工事業者のサンエーテック（水間静夫社長）が同社敷地内にある建屋を無償貸与した。

当日は本部技術委員会のメンバー10人が、故意に配筋ミスを織り込んで施工した構造見本を見学。その後、研修カリキュラムや講習時間、講師の確保など今後の施設運営に向けて意見交換を行った。

既に今月中旬にＪＳＣＡ会員向けの研修会を実施するほか、公共発注機関やゼネコンからの照会もあり、本部技術委員会の伊藤優委員長（日本設計）は「全国レベルで見ても画期的な施設。施工者、構造設計に携わる方々、工事発注者、学生など幅広い人に利用してほしい」と期待を寄せた。

配筋状況を確認するメンバー